

「がんになってもママ・パパになるために」

がん医療は進歩していますが、治療内容によっては、妊娠する力（妊孕性）が低下したり、将来子供を持つことが難しくなることがあります。

和歌山県では、将来子供を産み育てることを望む小児・AYA世代※のがん患者さん等が、将来に希望を持って治療に取り組むことができるよう支援するために、がん等の治療を開始する前に行う妊孕性温存治療に必要な費用の助成を実施しております。

妊孕性温存治療の取組を広く県民の皆様にご覧いただくために、公開講座を開催しますので、是非ご参加ください。

※AYA世代：Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字。主に15歳から30歳代までの世代を指す。

日時 令和4年3月6日（日）13:00～15:00

場所 オンライン公開講座（事前申込み必要、参加無料）

定員 250名（定員になり次第締め切ります）

申込方法は
裏面へ

講演1 「がんになっても母になりたい」 (50分)

若年性乳がんサポートコミュニティ
Pink Ring 代表

みふね みえ
御船 美絵 氏



（講師プロフィール）

31歳で乳がん罹患。闘病中に自身が欲しかった“若年特有の悩みを共有できる場”を広げるべく、2014年より若年性乳がん患者支援団体「Pink Ring」代表。CNJ認定乳がん体験者コーディネーター。日本乳癌学会編集「患者向けガイドライン」小委員会委員、がん・生殖医療学会編集「乳癌患者の妊娠・出産に関するガイドライン2021年版」編集委員、厚生労働省「小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法に関する検討会」構成委員。がん治療後に出産し、2児の母。

講演2 「卵子・精子の凍結保存について」 (50分)

うつのみやレディースクリニック
院長

うつのみや ともこ
宇都宮 智子 先生



（講師プロフィール）

和歌山県立医科大学卒業後、2010年より和歌山市内に不妊治療専門クリニックを開業。2013年から若年がん患者の卵子・精子凍結保存も行っている。2020年、和歌山県がん・生殖医療ネットワーク代表。2021年、うつのみやレディースクリニックが日本がん・生殖医療学会認定のがん生殖医療施設となる。医学博士、産婦人科専門医・指導医、生殖医療専門医、臨床遺伝専門医、認定がん・生殖医療ナビゲーター。

講演3 「和歌山県の妊孕性温存支援策について」 (10分)

和歌山県 福祉保健部 健康局 健康推進課 がん・疾病対策班

主催

和歌山県 / 和歌山県がん・生殖医療ネットワーク

和歌山県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存支援県民公開講座
参加申込みについて

定員になり次第締め切ります

以下のQRコード又はURLにアクセスし、必要事項を記入し、**令和4年2月25日（金）**までにお申し込みください。

公開講座視聴に関するURLは、ご登録いただいたメールアドレスあてに送付します。



<https://shinsei.pref.wakayama.jp/AmNgdew6>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

皆様のご参加
お待ちしております



【お問い合わせ】

和歌山県 福祉保健部 健康局 健康推進課

TEL：073-441-2640